2019학년도 중등학교교사 임용후보자 선정경쟁시험

일 본 어

수험 번호 : (　　)　　**성　명 : (　　)**

제1차 시험	2교시 전공A	14문항 40점	시험 시간 90분

○ 문제지 전체 면수가 맞는지 확인하시오.
○ 모든 문항에는 배점이 표시되어 있습니다.

※ 答えはすべて日本語で書くこと。

1. 次の<A>は、2015改定教育課程による日本語Ⅰ科目「内容体系」「話す」の一部である。<A>の下線部に該当するものを<B>の下線部ⓐ~ⓓから1つ選んで、場面に合った表現に直し、それを仮名5文字で書きなさい。[2点]

<A>

言語文化は日常の言語生活または言語によって形成されるすべての文化の総称であり、依頼方法、承諾・断りの方法、呼称の方法、表現的特徴などがある。表現的特徴とは、慣用的表現、結婚式や病院で控えることば、…(中略)…、韓国語と表現方法が異なるものなどを言う。

<B>

見舞い客: ⓐ具合いはどうですか。入院されたって聞いて、びっくりしました。
患者　　: あ、ご心配ありがとうございます。おかげさまで、ずいぶんよくなりました。
見舞い客: そうですか。それはⓑひと安心ですね。あ、これⓒつまらないものですが、よかったらどうぞ。
患者　　: あ、私の大好きなお菓子。ありがとうございます。

…(中略)…

見舞い客: あ、もうこんな時間。そろそろ失礼しますね。では、ⓓさようなら。

2. 次の下線部ⓐ~ⓔから間違っているものを1つ選び、正しく直しなさい。[2点]

○ こんな番組、二度とⓐ見るまい。
○ 事件のことはいっさいⓑ言うな。
○ 木村さんは、たしか去年ⓒ結婚したはずだ。
○ この話を聞いたら、山田さんはさぞⓓ喜ぶだろう。
○ この店の雰囲気は、あたかも外国にⓔいるらしい。

3. 次の(　　)に入る文法上の意味用法を書きなさい。[2点]

＜日本語学校で＞
留学生: 先生、明日私たちがパーティーを開きます。これ、招待状です。
先生　: (招待状を見て) ああ、5時からか。会議があるんだけどな。
留学生: そうですか。じゃ、いらっしゃらなくてもいいです。
先生　: ？

　留学生の下線部の発言は、それを聞いた先生に不快感を与え、誤解される恐れがある。なぜなら、目上の人に(　　)の表現を使ったからである。このような場合は、「残念ですね」などの表現を用いるとよい。

4. 次の文章のⓐ、ⓑに当てはまる用語を書きなさい。[2点]

子音は、肺から出される音、あるいは息が各種器官によって妨害され騒音として発生する音であり、調音点と調音方法によって分類できる。日本語の子音は、その音がどこで作られるかという調音点によって、歯茎音、硬口蓋音などに分けられる。また、その音がどのように作られるかという調音方法によって、はじき音、摩擦音などに分けられる。たとえば、「か・き・く・け・こ」の頭子音は、調音点による分類では(ⓐ)に、調音方法による分類では(ⓑ)に属する。

5. 次の文章を読み、ⓐに当てはまる用語を書きなさい。また、下線部ⓑに該当する用語を書きなさい。[2点]

日本語は敬語が発達した言語である。敬語は敬意を表す対象によって、大きく素材敬語*と(ⓐ)の2つに分かれる。

一方、素材敬語でもなく、丁寧語のような(ⓐ)でもない、いわゆる「準敬語」は、敬語教育において注意を要する。たとえば、「お茶、お寺、ご祝儀」などは、現代日本語において、男女とも「お」「ご」を付けるのが一般的である。また、男性は「お」「ご」を付ける人も付けない人もいるが、女性は付けるのが一般的なものもある。その例として、「お金、お米、ご褒美」などをあげることができる。ⓑこのようなことばは、話し手の品位やたしなみを表すために使われる。

＊話題敬語とも言う。

6. 次の<A>は評価方法についての説明であり、<B>は<A>の( )に入る用語に関する説明である。( )に当てはまる用語を書きなさい。[2点]

<A>

2015改定教育課程による日本語Ⅰ科目「評価方向」には、教師による評価だけでなく、学生相互評価、( )も行うという旨が記されている。

<B>

○ 言語学習は生涯続く自律学習であると考えられるので、この評価の重要性は高まっている。
○ 職場などでこの評価を求められることも増え、今までに自分がどの言語をどのくらい学び、どのくらいできるのかを説明することが必要となっている。

한국교육과정평가원

7. 次の文章を読み、(　　)に共通して入る用語を書きなさい。[2点]

田中：キムさん、何か特技とかあります？
キム：とく……ぎ？
田中：ああ、何か得意なこと、うまくできること、ありますか。
キム：うまくできること……ああ、特技！はいはい、あります。私の特技は、絵を描くことです。
田中：わあ、どんな絵を描くんですか。
キム：うーん……ユーロップのスタイルの……。
田中：ユーロップ？あ、ヨーロッパ？イギリスとかフランスとか？
キム：はいはい。ヨーロッパ？ヨーロッパの……昔の……有名な絵のスタイル……。
田中：あ、油絵かな。
キム：え？もう一度言ってください。
田中：油絵。油って、分かります？
キム：はい、分かります。油。
田中：油の絵の具で描く絵。
キム：ああ、油の絵！はいはい、そうですね。油絵。油絵を描きます。

この会話は、インターアクション仮説に関して示唆する点がある。インターアクション仮説とは、お互いの意思疏通がなされるまで(　　)を行うプロセスによって理解可能になったインプットが言語習得を促進するという考え方である。母語話者など言語能力が高い者から、簡略化したインプットを学習者が受身的に受け取るのではなく、学習者側も積極的に働きかけて(　　)に参加することが習得過程では重要になる。

8. 次の文章は文学作品の一部である。(1)~(4)を成立年代の早い順に並べかえなさい。[2点]

(1) 小説の主脳は人情なり、世態風俗これに次ぐ。人情とはいかなるものをいふや。曰く、人情とは人間の情欲にて、所謂百八煩悩是なり。それ人間は情欲の動物なれば、いかなる賢人善者なりとていまだ情欲を有ぬは稀なり。

(2) ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたる例なし。世の中にある人と栖と、またかくのごとし。

(3) をとこもすなる日記といふものを女もしてみむとてするなり。それの年の師走の二十日余り一日の日の、戌の時に門出す。そのよし、いささかにものに書きつく。

(4) さいつころ、雲林院の菩提講に詣でて侍りしかば、例の人よりはこよなう年老い、うたてげなる翁二人、嫗といきあひて、同じ所に居ぬめり。あはれに同じやうなるもののさまかなと見侍りしに、これらうち笑ひ、見かはして言ふやう、…(下略)…

9. 次の文章は、日本語の自動詞と他動詞に関する説明である。ⓐ、ⓑに当てはまる用語を書きなさい。また、下線部ⓒの説明が正しくない理由を書きなさい。[4点]

日本語の自動詞と他動詞には、「(電気が)つく-(電気を)つける」のように対をなすものがある。一方、「いる」「遊ぶ」のような自動詞や、「読む」「食べる」のような他動詞は、対をなさない。このような対をなさない自動詞を他動詞的に用いる場合は、(　ⓐ　)形で代用し、対をなさない他動詞を自動詞的に用いる場合は、(　ⓑ　)形で代用する。また、「対策が決定する」「対策を決定する」のように、1つの動詞が両方に使われることもある。「大空を飛ぶ」「高速道路を走る」における動詞はⓒいずれも他動詞で、「を」は動作の対象を表す。

10. 次の文章を読み、ⓐに当てはまることばを、文中から探して書きなさい。また、下線部ⓑ~ⓕから、読み方が間違っているものを1つ選び、正しく直しなさい。さらに、ⓖを、文脈に合わせて完成させなさい。[4点]

＜日本のリーダーの任務は和の維持＞

日本の社会は、西欧的なコントラクト関係が設定されにくい。この関係で構成された集団では、個々の成員の間、リーダーと成員の間がしっくりいかなくなることがよくある。その集団の個々人にとっては、共通の目的や仕事の達成よりも、感情的な人間関係が重要視されるからである。

日本の学術調査団では、(　ⓐ　)を結んで、寄り合い所帯的団員構成をもった場合、ほとんど例外なく失敗を招く。仕事の能率は悪く、感情的な人間関係に精力を使われ、予定した仕事が少しもスムーズに運ばず、ものすごい苦労をする。

たいてい仲間割れをして、団長は悪口ⓑ雑言(ざつげん)の対象以外の何物でもなくなってしまう。日本では立派な教授でも、現地人や外国人の前で喧嘩をし、いがみ合ってⓒ汚名(おめい)を残してしまうような結果となる。これではいくら優秀な団員からなり、十分な費用をもっていても、仕事の成果はさっぱりあがらないのである。

これに対して、リーダーが長老格の教授で、その愛弟子ばかりを団員とした調査団ほどうまくいく。こうした隊では、どんなに貧しい調査費でも、どんなに苦しい環境にあっても、目的をⓓ完遂(かんすい)しうるのである。それは、われわれの団長のためにはあらゆるⓔ犠牲(ぎせい)をいとわないというううるわしい積極性が団員にあり、一方、「かわいい奴らだ」という限りない弟子へのいつくしみに支えられた団長のおもいやりがあるからである。

この関係にあっては、団長の力ももちろんあるが、団員によって団長が動かされる度合いは、目には見えないが、相当あるのが普通である。実際、リーダーのⓕ権限(けんげん)は欧米人による調査団の場合よりずっと小さくなっている。

従って、学問的に非常にすぐれ、才能のあるリーダーが、それを十分発揮できない場合が多い。団長の存在理由は、調査を指導する、あるいは自分の調査目的を達成するというよりも、むしろ(　　ⓖ　　)ということにある。

中根千枝『タテ社会の人間関係』より改変

11. 次の文章を読み、下線部ⓐについて、形態上の特徴2つと使用主体を書きなさい。また、ⓑに入ることばを書きなさい。[4点]

明治以降の近代に入ると、それまでのⓐ女房詞、武家ことば、町人ことばといった区別に代わって、上流・中流・下流といった(　ⓑ　)間のことばの差異や対応が見られるようになった。(　ⓑ　)によって、夫婦の呼称に区別があった。たとえば、夫を殿様、その妻を奥様と言う。夫を檀那様と言えば、その妻を御深窓様と言う。ご亭主と言えば、おかみさんと言う。必ず対をなす習慣だったのに、近頃*は中流以上の家では夫を檀那様と言いながら妻を奥様と言う。この場合は御深窓様であるべきなのに、このようにも使う。

いずれにしても近代日本語の形成過程において、中流の人々のことばが、一種の主導力を発揮したことは、日本語史において重要な事実である。

＊明治28年(1895)前後を指す。

한국교육과정평가원

12. 次の文章を読み、下線部ⓐの3種類の字音を流入時期の早い順に並べなさい。また、「行」の字音を下線部ⓑのように説明しなさい。[4点]

韓国語では、少数の例外を除き、漢字には1つの読みしかない。しかし、日本語では1つの漢字に複数の読みがある場合もあり、日本語学習者の悩みの種の1つである。日本語における漢字には、ふつう訓読みと音読みという2つの読み方がある。

音読みは、さらに、中国のどの時代のどの地方の字音が伝わったものかによってⓐ3種類に大別される。たとえば、「経」という漢字には、ⓑ「経歴」の「ケイ」、「経文」の「キョウ」、「看経」の「キン」という3つの字音が存在する。

13. 次の文章を読み、ⓐに当てはまることばを書きなさい。また、日本人担当者が下線部ⓑのような表現を使った理由を説明しなさい。[4点]

人間の文化とコミュニケーションは不可分の関係にあり、文化はコミュニケーションを通して形成され発展を続け、一方、各々の文化は固有のコミュニケーション様式を造りあげてきた。このことにより、文化的背景の異なる者の間のコミュニケーションでは、その文化的背景が要因となって、(ⓐ)が生じることがある。

たとえば、こういう類いの話をよく聞く。何らかの事情で困っていた外国人が、日本の役所に行って無理な書類の発行を頼んだ。日本人担当者は、自分の権限ではどうにもできないことだったので、その受け答えにずいぶん苦しんだ果てに、ⓑ「いちおう、前向きに考えます」と言って、その場をしのいだ。これを聞いた外国人が自分の頼みが受け入れられたと勘違いし、再度その確認のため役所に行ったそうだが、これこそ(ⓐ)の1つである。

14. 次の作品のジャンルの名称を漢字で書き、そのジャンルを<条件>に従って説明しなさい。[4点]

地　：さし来る潮を汲み分けて、見れば月こそ桶にあれ、
シテ：これにも月のいりたるや、
地　：嬉しやこれも月あり、
シテ：月はひとつ、
地　：影はふたつ、満つ潮の、夜の車に月を載せて、憂しとも思はぬ、潮路かなや。
ワキ：いかに塩屋の内に案内申さうのう。
ツレ：なにごとにて候ふぞ。
ワキ：旅人の道に行き暮れて候、一夜の宿をおん貸し候へ。

<条件>
○ 大成者を含めること。
○ 美的理念を含めること。

<수고하셨습니다.>